

SG-5TS 501用温度センサー（水温・油温共通）

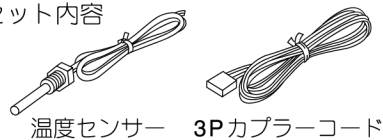
- 本品は、PIVOT 501 (5 in 1 GAUGE) で、温度センサー信号をセンサー配管して接続するための温度センサーです。
- SGシリーズ・GEKKOシリーズの各製品に取り付ける場合は、製品本体付属の取扱説明書をご覧ください。



作業上の注意

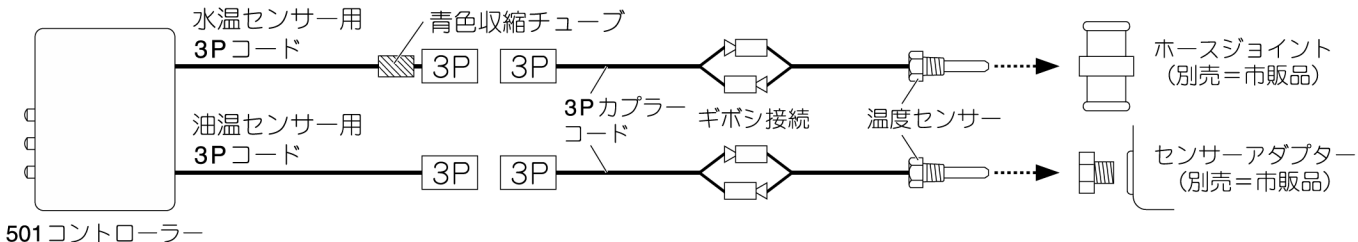
1. 安全のため、作業中は必ずバッテリー⊖端子を外して下さい。（検電時は戻す）
2. ギボシ類は確実に取り付け、絶縁処理をして下さい。
3. コードの引き回しは、ショートや断線のないようにご注意下さい。

■セット内容



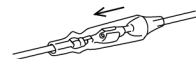
配線接続方法

※温度センサー以外の配線接続については省略してあります。501取説本文と併せてご覧ください。



- ① 501コントローラーウラの3Pカプラーコードへ付属の3Pカプラーコードを接続します。
- ② 温度センサーと付属の3Pカプラーコードをギボシ接続します。

※3Pカプラーコードとセンサーをつなぐギボシの接続は確実にを行い、オスカバーがメスカバーの内側へ入り込むようにしっかりとねじ込んで下さい。



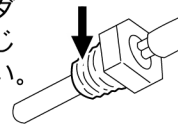
センサーの取付方法



センサー取付時の注意

1. ホースジョイントやセンサーアダプターの取付は確実にを行い、液漏れ等ない様ご注意下さい。又、取付後は時々液漏れをご確認下さい。
2. センサーやコードに急な曲げやねじれが加わらない様、ホースジョイントやセンサーアダプターの向きをよくご検討の上お取り付け下さい。
3. 走行後等のエンジン周りが熱い状態での作業は火傷やケガの恐れがありますので、冷えてから行って下さい。
4. センサーコードの接続は必ずセンサーを取り付けてから行って下さい。コードを接続したままセンサーを取り付けると、コードがねじられるようになり、断線等の原因となります。

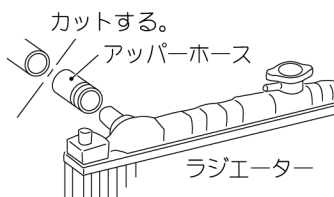
●ネジ部の白テープは液漏れ防止用のものですので、そのままアダプターへねじ込んで下さい。



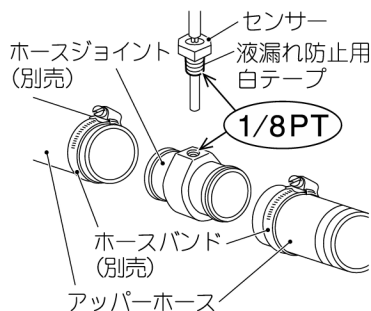
■水温センサーの取付

⚠ 水温センサーは、ラジエーターのアップパーホースへホースジョイント (1/8PT穴のもの=別売、市販品可) を使用して取り付けます。(ネジサイズが異なる場合はアダプター等でサイズを合わせてお取り付け下さい。)

- ①ラジエーターのアップパーホースを適当なところでカットします。(冷却水が出ますので補充用クーラントをご用意下さい。)



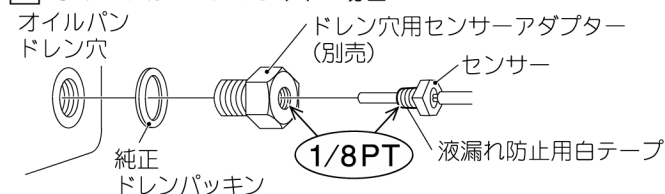
- ②カットしたアップパーホースへホースバンドを通し、ホースジョイントを割り込ませ、水漏れのない様センサーを確実に取り付けます。



■油温センサーの取付

⚠ 取り付ける場所に応じたセンサーアダプター (センサー取付部 1/8PT=別売、市販品可) をご用意下さい。

Ⓐ オイルパンのドレン穴の場合



最低地上高の低いクルマや悪路を走行するクルマの場合、センサーが下方方向に突起するような取り付け方をすると、地面等に接触し破損・故障の原因となりますので別の場所へお取り付け下さい。

Ⓑ オイルエレメント取付部の場合

